

SGコースって、どんなことするの？ ～What we talk about when we talk about SG Course～

泉丘での高校生活が始まり2か月がたち、1年生のみなさんは学校生活全般において少しずつ慣れてきたところだと思えます。一方で、まだまだ先の話ではありますが、秋に文理選択およびコース選択の登録というものがあります。そのコース選択では「普通コース」「SGコース」を選択することになりますが、今回は関心を持っている人も多いであろうSGコースの特徴的なプログラムについて紹介します。

- ・ **SGスタートアップ研修**（1年次3月）：1年次の春休みに実施する2日間にわたるSGコース最初の行事。様々なゲストからグローバルな社会課題について学び、2年から本格的に始まる課題研究に向けての広い視野とヒントを見つけてもらいます。
- ・ **京都大学大学院思修館研修**（2年次6月）：研究者として実際に活動する京都大学の大学院生から、課題研究の流れ、取るべき手順やアイデアの出し方、分析する視点について助言してもらいます。
- ・ **アジアユースリーダーズ**（2年次8月）：希望者参加。全国から派遣された高校生たちが、他のアジアの国の高校生たちと与えられた課題についてオールイングリッシュで解決策を議論・提案する6日間のプログラム。英語を話したくてうずうずしている生徒にはうってつけのプログラムです。
- ・ **米国海外研修**（2年次10月）：7泊8日の研修旅行で、グローバルマインドや実践的英語力の育成を図ります。コロナ禍のためしばらく実施できていませんでしたが、昨年度から再開しています。これまでの研修では、国連職員やユニセフ職員の講義、プリンストン大学で学生との意見交換、プリンストン高校での授業参加と2泊のホームステイ、ブロードウェイで俳優として活躍する本校卒業生で俳優の由水みなみさんのワークショップ、ワシントンDCでアメリカの歴史を概観するツアーなどがありました。



京都大学訪問

【生徒の感想】アメリカ研修を終えて、私は「今までの自分は正しかったのか？」と疑いました。1年生の時、泉丘は大学に行くための通過点であり、受験勉強だけすればいいと思っていました。海外に行ったり、探究活動で発表したりすることは、まったく問題外だと思っていました。しかし、アメリカの大学生やビジネスパーソンと交流し、文化や歴史を学ぶことで、狭い世界から自分を解放することができたと感じています。学校の授業だけでは得られない発見があり、SGコースの海外研修は本当に素晴らしい体験でした。



現地IT企業研修



プリンストン大学でのプレゼン発表



国連日本代表部訪問

・**課題研究発表会**（2年次1月）：2年次の集大成として自分たちの課題研究について日本語でプレゼンテーションを行います。アドバイザーとして大学の先生や探究活動の専門家の方々を招待し、活発に議論を行うことで研究を深めるきっかけになります。

・**北アジアCAPEとのオンライン交流**（3年次4月）：ニュージーランドの大学に通う外国人学生とオンラインで交流し、日本文化や自分たちの研究テーマについてディスカッションを行います。



オンライン交流



2年課題研究発表会



3年課題研究成果発表会

・**課題研究成果発表会**（3年次7月）：

SGコースの最終ゴールとして行われる英語発表会。2年次の「課題研究発表会」を踏まえて、グローバルな視点を盛り込み発展させた内容を英語でプレゼンテーションします。外国人の留学生や県内在住の外国人の方々を招待し、質疑応答もすべて英語で行われます。それまでに培ったより高度な英語力の実践の場となります。

◆先輩たちからのメッセージ

全員がやる気に溢れている。探究のときの**積極性**は言うまでもなく、普段の授業でも質問が飛び交ったりして授業が深まるし、テスト期間はみんな一生懸命だから自分も勉強する気になる。

文理混合なので色々な考え方に触れられる。英語を話す機会が多いので、英語を話すことに対する抵抗がなくなり、英会話の力もつく。探究でプレゼンのスキルや真剣に頑張るという経験ができる。

意欲が高く、**個性が豊か**で一人ひとりに強みがある。また、イベントを開いたりフィールドワークに行ったりなどいろいろなことができる。学校外の**大人と交渉**したり、協力したりする能力がつく。

探究活動、部活動、勉強全ての面で常に**全力投球**なクラスメイトにいい刺激を受けることができる。探究活動だけに専念する人は少なく、忙しいなかの限られた時間で効率よく作業をする力も自然と身につく。

探究の授業時間が多いため、より自分の興味のある、**深い探究活動**を行える。先生方に探究を支えていただけるし、生徒も探究を頑張ろうと思っている人が多いので、思う存分探究ができる。

何かの分野のプロフェッショナルがいるから勉強の質問をしやすく、いい刺激を貰える。**勉強でも授業でも行事でも探究でも**みんなの意識が高いため充実した日常生活を送れる。

周りのレベルが高く、一緒に過ごしているだけで、自分の意識も高まる。同じ目標に向かう人が多いため、一緒に**切磋琢磨**しあえる！どんな考えを言っても**肯定してくれる雰囲気**で発言しやすい。

他校の探究を目にしたたり専門家の人の話を聞いたり本やネットでの調査をしたりして、**見える世界がぐんと広がる**し、自分の行動範囲がいかに狭かったかを知れる。